

# 第63回日本電気泳動学会総会 ポスター発表演題

会場：沖縄コンベンションセンター

第1日目（平成24年8月20日）

## P1-01

中性亜鉛 Phos-tag プレキャストゲル (SuperSep Phos-tag) を用いたリン酸化タンパク質の解析

○木下恵美子, 木下英司, 小池 透

広島大学大学院医歯薬保健学研究院

## P1-02

ガウス波形近似を用いた ALP アイソザイムの定量法 —アガロース法と PAG-Disc 法との比較—

○久保田亮 1)、金澤敏行 2)、松田武英 2)、井上郁夫 3)、杉浦 綾 4)、前川真人 4,5)

1)埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科、2)(株)明日香特殊検査研究所、3)埼玉医科大学内  
分泌内科・糖尿病代謝内科、4)浜松医科大学附属病院検査部、5)浜松医科大学臨床検査医学

## P1-03

ゲル電気泳動を利用した DNA 複製タイミングの測定法の開発： ヒトゲノム機能解析への応用

○渡邊 良久 1)、池村 淑道 2)、前川 真人 1)

1) 浜松医科大学 医学部 臨床検査医学講座、2) 長浜バイオ大学

## P1-04

ローヤルゼリータンパク質MR J P 1 の熱処理による影響 —分子の変化と細胞増殖促進作用—

○伊東愛美 1)、田村彰吾 1)、河野透 2)、野崎玲雄 2) 3)、山口喜久二 3)、森山隆則 1)

1) 北海道大学大学院、2) 旭川医科大学、3) J R J 株式会社

## P1-05

糖と親和性のあるホウ素化合物 methacrylphenylboronic acid (MPBA)を用いた 新規対角線電気泳動法の開発

○相京 祐一 1)、中里 賢一 2)、大石 正道 2)

1) 北里大学大学院理学研究科、2) 北里大学理学部物理学科生体分子動力学講座

## P1-06

膜上に転写されたムチンの糖鎖分析と両立できる新規染色法

○董 偉傑、松野裕樹、亀山昭彦

産総研・生物プロセス研究部門 複合糖質応用研究グループ

## P1-07

プロテオミクス解析による酸化ストレス暴露サル海馬に おけるタンパク質の変動解析

○栗本将多 1)、及川伸二 1)、山嶋哲盛 2)、Raynoo Thanan

1)、都築政弘 1)、村田真理子 1)

1) 三重大院・医・環境分子医学、2) 金沢大学院・医・再生脳外科学

#### P1-08

前立腺癌のアンドロゲン非依存性に関与するリン酸化タンパク質の探索

○井野洋子 1)4)、荒川憲昭 1)、石黒 斉 2)3)、上村博司 2)、窪田吉信 2)4)、平野 久 1)4)  
1)横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 生体超分子システム科学専攻、2)横浜市立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学、3)財団法人 神奈川科学技術アカデミー 光触媒グループ、4)横浜市立大学 先端医科学研究センター

#### P1-09

自己抗体を用いた肺癌患者血清中の シスプラチン感受性に関わる分子の探索

○柳田憲吾 1)、長塩 亮 1)、及川将太 1)、龍華慎一郎 2)、蔣 世旭 3)、佐藤雄一 1)  
1) 北里大学大学院応用腫瘍病理学 2) 北里大学医学部呼吸器内科学 3) 北里大学医学部病理学

#### P1-10

肺腺癌における MUC5B 発現と予後との関連について

○長塩 亮 1,2)、南 尚 2)、小林 信 2)、柳田憲吾 2)、村上友利恵 2)、  
龍華慎一郎 3)、鉢村和男 1)、佐藤雄一 1,2)  
1) 北里大学医療衛生学部臨床検査学、2) 北里大学大学院医療系研究科応用腫瘍病理学、  
3) 北里大学医学部呼吸器内科学

#### P1-11

膀胱癌患者血清中の自己抗体を利用したセクレトーム解析

○南 尚 1)、松本 和将 2)、長塩 亮 1,3)、杉本 愛 1)、佐藤 雄一 1,3)  
1) 北里大学大学院応用腫瘍病理学、2) 北里大学医学部泌尿器科学、3) 北里大学医療衛生学部臨床検査学

#### P1-12

蛍光二次元電気泳動法(2D-DIGE)による大腸がんの発生・進展関わるタンパク質 APC-binding protein EB1 の同定

○杉原 豊 1)、谷口 浩和 2)、市川 寛 1)、窪田 大介 1)、藤田 伸 2)、近藤 格 1)  
1) 国立がん研究センター研究所、2) 国立がん研究センター中央病院

#### P1-13

蛍光二次元電気泳動法を用いたプロテオミクス解析により同定した消化管間質腫瘍 GIST 予後予測マーカー - DDX39 -

○菊田一貴 1)2)3)、窪田大介 1)4)、斎藤剛 5)、折田創 6)、吉田朗彦 7)、津田均 7)、末原義之 4)、  
片井均 8)、島田安博 9)、戸山芳昭 3)、佐藤公一 6)、八尾隆史 5)、金子和夫 4)、別府保男 2)、  
村上康文 10)、川井章 2)、近藤格 1)  
1)国立がん研究センター研究所創薬プロテオーム研究分野、2)国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科、3)慶應義塾大学医学部整形外科、4)順天堂大学医学部整形外科、5)順天堂大学医学部病理、6)順天堂大学静岡病院外科、7)国立がん研究センター中央病院病理科・臨床検査科、8)国立がん研究センター中央病院消化器腫瘍科胃外科、9)国立がん研究セン

第2日目（平成24年8月21日）

P2-01

細胞中イオンの電気泳動分析のための内壁コートキャピラリー —第2報

○長井 俊彦 1)、志村 清仁 1)、小林 大輔 2)、挾間 章博 2)

1) 福島県立医科大学医学部・自然科学講座（化学）、2) 同・細胞統合生理学講座

P2-02

病院微生物検査室における電気泳動の有用性

○石川仁子 1)、山影 望 1)、澤村 暢 1)、名倉理教 1)、前川真人 1,2)

1) 浜松医科大学付属病院検査部 2) 浜松医科大学臨床検査医学講座

P2-03

分子マトリクス電気泳動 (SMME) による肝内胆管癌ムチンの分析

○松野裕樹 1)、松田厚志 2)、久野 敦 2)、平林 淳 3)、成松 久 2)、亀山昭彦 1)

1) 産総研・生物プロセス研究部門、2) 産総研・糖鎖医工学研究センター 3) 産総研・幹細胞工学研究センター

P2-04

特異的タンパク質検出のためのアフィニティトラップポリアクリルアミドゲル電気泳動  
—固定化リガンドゲルの評価と親和性蛋白質検出の試み—

○粟田ちひろ 1)、高尾敏文 1)

1) 大阪大学 蛋白質研究所 機能・発現プロテオミクス研究室

P2-05

トロピカルフルーツによるレンサ球菌産生溶血毒素阻害能の検討

○宮城聡子、坂口和子、鈴木 潤

麻布大学、生命・環境科学部、食品生化学

P2-06

pT1G3 膀胱癌患者の腫瘍の進展に関与する自己抗体の探索

○藤田 奈央 1)、南 尚 1)、松本 和将 2)、西村 由香里 1,4)、服部 学 1,4)、長塩 亮 1,3)、佐藤 雄一 1,3)

1) 北里大学大学院応用腫瘍病理学、2) 北里大学医学部泌尿器科、3) 北里大学医療衛生学部臨床検査学、4) 北里大学医療衛生学部臨床細胞学

P2-07

Micropapillary pattern 肺腺癌患者の血清中自己抗体の探索と有用性評価

○村上友利恵 1)、松本俊英 4)、中島裕康 3)、南 尚 1)、小林 信 1)、柳田憲吾 1)、蔣 世旭 4)、

龍華慎一郎 2)、鉢村和男 1)、長塩 亮 1)、三枝 信 4)、佐藤雄一 1)

1) 北里大学大学院医療系研究科応用腫瘍病理学、 2) 北里大学医学部呼吸器内科学、 3) 北里大学医学部呼吸器外科学、 4) 北里大学医学部病理学

#### P2-08

同一肺腺癌患者組織と血清を用いた血清診断マーカー探索の有用性

○小林 信 1,2)、松本俊英 3)、村上友利恵 1,2)、龍華慎一郎 4)、長塩 亮 1,2)、蔣 世旭 3)、三枝 信 3)、鉢村和男 2)、佐藤雄一 1,2)

1) 北里大学大学院医療系研究科応用腫瘍病理学、 2) 北里大学医療衛生学部臨床検査学、 3) 北里大学医学部病理学、 4) 北里大学医学部呼吸器内科学

#### P2-09

細胞の空間的な配置の違いがもたらす薬剤応答性の違いの背景となる 分子機構の解明を目指したプロテオーム解析

○新井一也 1)、坂本るり子 1)、伊藤学 1)、窪田大介 2)、近藤格 2)

1) SCIVAX 株式会社、 2) がん研究センター研究所 創薬プロテオーム研究分野

#### P2-10

レーザーマイクロダイセクション (LMD) と大型蛍光二次元電気泳動を用いた大腸がんのプロテオーム解析

○米森啓貴 1、 2)、村上康文 1)、近藤格 2)

1) 東京理科大学大学院 基礎工学研究科 生物工学専攻

2) 国立がん研究センター 創薬プロテオーム部門

#### P2-11

GeLC-MS/MS を用いた胃がん転移に関わるタンパク質の同定

○市川寛 1)、神田達夫 2)、谷口浩和 1)、畠山勝義 2)、佐々木博己 1)、近藤格 1)

1) 国立がん研究センター、 2) 新潟大学大学院医歯学総合研究科

#### P2-12

粘液型脂肪肉腫の治療方針決定に有用なバイオマーカーの探索

○田島崇 1、 4)、窪田大介 1)、吉田朗彦 2)、川井章 3)、望月一男 4)、近藤格 1)

1) 国立がん研究センター研究所創薬プロテオーム研究分野、 2) 国立がん研究センター中央病院病理科、 3) 国立がん研究センター中央病院整形外科、 4) 杏林大学整形外科